

間の年平均気温傾度を比較した(第3表)。これによると、南端の緯度の年平均気温については対象地域の方が北半球平均よりやや高い。又、南北傾度についても対象地域の方が北半球平均より大きく、特に本島地点群の気温傾度は北半球平均の約3倍になっている。このことは、従来沖縄本島は海洋上の小孤島としてその存在がかえりみられず、付近の気候に与える影響が無視されがちであるが、南北傾度を考える場合はその点に注意を喚起する必要があることを暗示している。

5. むすび

ここで得られた気温分布は様々の地形環境下の、5～20 km・間隔をおいて設定された旧区内観測所の観測網でとらえられたものである。この観測網から脱落する地形及びその他の要素の影響を反映するより高密度の観測網の結果を解析するならここでえられた気温分布に多々の変更を加える必要が生ずるのであろう。

得られた気温分布をもたらす要因として冒頭で列記したごとく諸々の事象を考えることが出来るが、これらの事象が気温分布に及ぼす影響を要因別に定量的に評価することは極めて困難と思われる。海拔高度、海洋への接近度、地形の3つの要因を例にとってもわかるように、それぞれの因子の気温へ及ぼす影響の程度に優劣を決めることすら困難である。これは、一つには、棒状に細

長く延びた本島両側が観測資料に欠乏した広大な海洋に面しているため、諸変量の変動の範囲を二次的に広くとることが出来ないこと、又もう一つには、地上被覆状態や局地の気象要素にその例を見るように、気温分布とかかわりをもつ諸要因について、沖縄全域的なひろがりにおける観測評価の例が少いことにあると思われる。ここでは、この面の定量的な研究調査の困難性からとりあえず逃れて、気温分布の要因として考えられるものについて定性的に考察した。

文 献

- 石島 英, 1974: 沖縄本島付近の降水量に関する解析, 天気, 22, 73-77.
 糸数昌丈, 1969: 沖縄における水収支琉球気象調査報告, 23, 1-17.
 河村 武, 1972: 都市気候—とくに heat island に関する研究を中心として—気象研究ノート, 98, 468-483.
 関口 武, 1951: 小地域における湿度, 気温分布と地上被覆(その2), 地理学評論, 24, 404-411.
 福井英一郎, 1962: 気候学第2巻自然地理, 応用地理, 古今書院.
 曲田光夫, 西田圭子, 1971: 大気成層の統計的性質, 天気, 18, 399-406.
 吉野正敏, 1972: 小気候, 地人書館.

昭和50年度松永賞受賞候補者推薦依頼について

松永記念科学振興財団から松永賞(自然科学部門)の受賞候補者の推薦方依頼がありましたので、推薦方を希望する会員または他会員を推薦しようとする会員は、下記要項に従って、候補者氏名;生年月日;推薦会員氏名;連絡先(郵便番号, 宛先, 電話番号)を記入し、担当理事 奥田 穰(〒166 東京都杉並区高円寺北4丁目35-8, 気象研究所台風研究部, Tel. 03-337-1111)に申出下さい。推薦の選定は常任理事会で行います。

松永賞推薦要項

1. 1件を推薦し、日本気象学会締切は6月20日(担当理事必着)とする。
2. 自然科学(理学・工学)の分野における基礎的研究で、学術上の業績の顕著なもの、個人研究でも共同研究でもよい。
3. 対象者は大学に在職し、昭和5年12月1日以後に生れたもの。
4. 賞は1口100万円とし、本年度は3名以内を予定する。